I-O DATA

USB2.0接続PCカードTypeⅡ
データ通信カードアダプター

USB2-PCADPK

取扱説明書

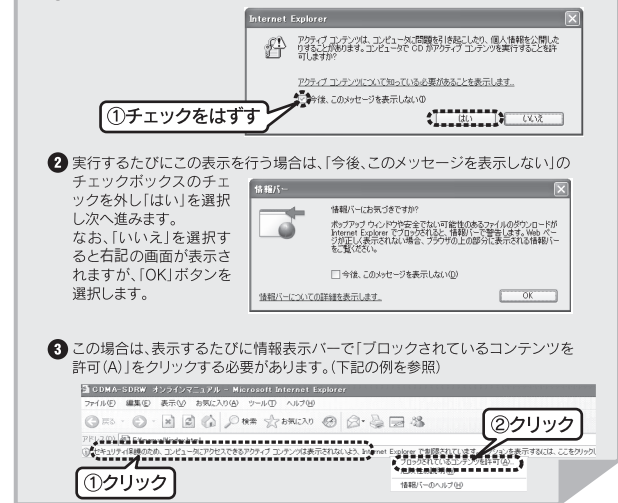
B-MANU200919-01

このたびは、「USB2-PCADPK」(以下、「本製品」と表記します。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本製品の詳しいお取り扱い方法は、オンラインマニュアルに記載されています。

●オンラインマニュアルの参照方法

①添付のサポートソフト(CD-ROM)をパソコンに挿入します。自動でメニューが起動します。
※自動で起動しない場合は、サポートソフト内の[Autorun]をダブルクリックしてください。

②[オンラインマニュアル]をクリックします。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

⚠警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

本製品を濡らさないでください。
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
- ●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所　●温度・湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- ●強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
- ●水気の多い場所(台所、浴室など)
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用(保管は通風孔をふさぐようにしてください。)
- ●腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど)
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません。)

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

使用上の注意事項

- ●Cardランプが点滅中は絶対にカードを抜かないでください。カードに記録されている内容が消えたり、カードが損傷する原因となります。
- ●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープなどの機能には対応しておりません。
- ●ご利用の環境によってはUSBハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続する必要があります。
- ●本製品をUSBハブに接続する場合、USBハブには必ずACアダプターを接続し、コンセントから電源を供給してください。
- ●メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを行うことをおすすめします。

通信カードをご使用の場合

- ●常に同じUSBポートでご使用ください。一度インストールを行ったUSBポートと違うUSBポートへ抜き差しを行うと、新たに再認識するため、サポートソフトが要求され、COMポート番号が変更されます。
- ●FAX通信には対応しておりません。
- ●直接COMポートへアクセスするタイプのアプリケーションでは利用できません。(MS-DOSアプリケーションや16bitアプリケーションなど)
- ●通信カード付属のユーティリティソフトウェアは使用できません。

ATAカードをご使用の場合

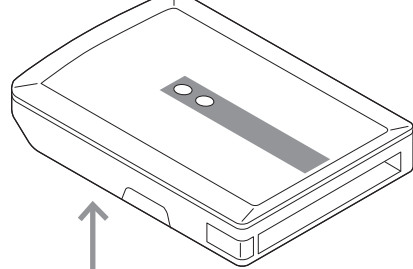
- ●ATAカードを使用している場合は、これらのカードの取り出し作業を行ってから、本製品のUSBケーブルをパソコンから取り外してください。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

箱の中には

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。　※箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

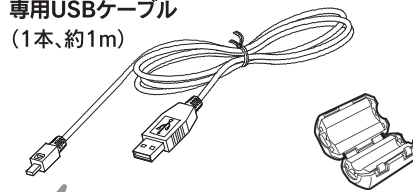
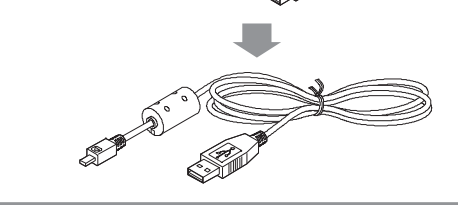
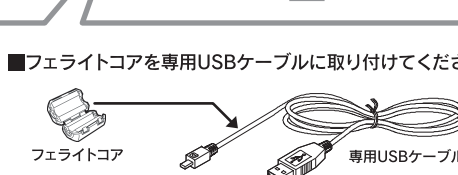
□ 本製品(1台)

ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

S/N(シリアル番号)は本製品の裏面に貼られている12桁のものです。(例:ABC0987654ZX)
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
- ●ユーザー登録⇒**http://www.iodata.jp/regist/**
- ●サポートソフトのダウンロード⇒**http://www.iodata.jp/lib/**

□ 専用USBケーブル(1本、約1m)

□ フェライトコア(1個)

■フェライトコアを専用USBケーブルに取り付けてください。

□ サポートソフトCD-ROM(1枚)

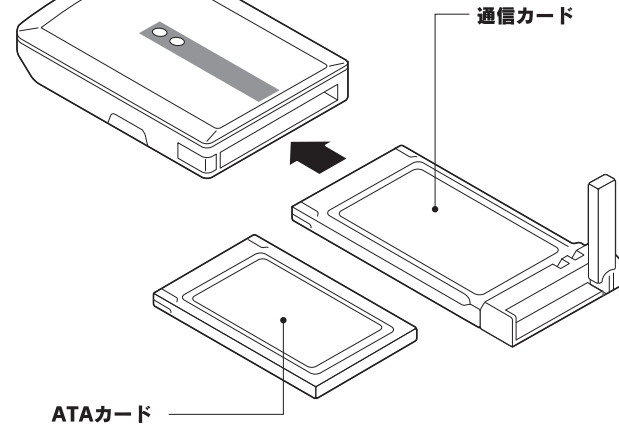
☑ 取扱説明書(本書 1枚)

□ ハードウェア保証書(1枚)

本製品でできること

■通信カード・ATAカードをUSB接続で利用可能!

●KDDI製W01K,W04KをUSBポート搭載のパソコンで使用できます。
※通信カード付属のユーティリティソフトウェアは使用できません。

●ATAカードの読み書きができます。
デスクトップパソコンとノートパソコン間のデータ交換やPCカードスロットを搭載していないパソコン間でデータ交換が行えます。
※各種メディアはアダプターを使用することにより、ATAカードとして使用可能です。

■メニュー画面の説明

❶	デバイスドライバ	デバイスドライバをインストールします。本製品をパソコンに接続する前に行ってください。
❷	オンラインマニュアル	オンラインマニュアルを表示します。

動作環境

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。
お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

●Windows搭載パソコン

対応機種	USB 2.0もしくはUSB 1.1を標準搭載※1し、MMX Pentium 200MHz以上のCPUを搭載した下記の機種 **DOS/Vマシン**
対応OS(日本語版)	Windows Vista™、Windows XP、Windows 2000
CD-ROM	サポートソフトのインストールに必要

※1 弊社製USB 2.0/1.1インターフェイスボード搭載機種を含む。
※USB 1.1対応USBポートで使用した場合には、USB 1.1となります。
※通信カードを使用した場合はUSB1.1となります。

注意
- ●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープなどの機能には対応しておりません。
- ●USBハブに接続する場合は、必ず、USBハブにACアダプタをつけてご使用ください。また、ご利用の環境によっては、USBハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。
- ●本製品は、対応カード以外のPCカードおよびCard Bus(カードバス)には対応しておりません。

各部の名称

USB接続端子	専用USBケーブルの小さい方のコネクタを接続します。
Readyランプ(青色)	パソコンのUSBポートに接続すると点灯します。点滅時は正常に認識されていません。
Cardランプ(緑色)	パソコンのUSBポートに接続し、カードスロットにカードを入れると点灯します。 ■点灯時:カードが使用可能です。 ■消灯時:カードが未装着です。 ■早い点滅時:カードにデータのリード/ライト中です。カードを取り外さないでください。
カードスロット	通信カード、ATAカードなどを差し込みます。
取り出しボタン	カードを取り出します。 ※通信カードの場合、「Card」ランプが早い点滅でなければ、取り出すことができます。

ハードウェア仕様

型式番号	USB2-PCADPK
インターフェイス	USB Specification Rev 2.0/1.1準拠　ホットプラグ対応
転送方式	コントロール転送、バルク転送、インタラプト転送
転送速度	■480Mbps(USB 2.0環境でATAカード使用時) ■12Mbps(通信カード使用時)　※共に理論値
電源電圧	DC 5.0V(バスパワーによる供給)
消費電流	260mA(max) ※カード消費電流は除く
動作環境(温度/湿度)	+0~40℃/+20~80%(結露しないこと)
外形寸法	103.0(D)×73.0(W)×18.5(H)mm
ケーブル長	約1m
質量	約95g(ケーブルを除く)

対応カード

●対応データ通信カード

KDDI(au)	W01K、W04K※1

※1 別途アダプターが必要です。

注意
- ●本製品はFAX通信には対応しておりません。
- ●通信カード付属のユーティリティソフトは動作しません。

●対応ATAカード・ハードディスクPCカード

ATAカード・ハードディスクPCカード		備考
I-O DATA	ハードディスクPCカード「PCHDTシリーズ」	2GB、5GBタイプのみ対応
	PCFCAシリーズ、PCFLシリーズ、PCFL-iVシリーズ	
	マイクロドライブ「CFMDシリーズ」	弊社製「CFMD-ADP」使用時

●対応PCカードアダプター(メモリーカード)
※各メモリーカードの機能は、ご使用になられるPCカードアダプターに依存します。

PCカードアダプター		メモリーカード
I-O DATA	PCSDM-ADP	miniSDカード、SDメモリーカード、microSDカード※1 マルチメディアカード
	PCSDⅡ-ADP、PCSD-ADP、PCSDL-ADP	SDメモリーカード、マルチメディアカード
	PCCF-ADP	コンパクトフラッシュ
	SMC-ADP	スマートメディア
	PCxDS-ADP	xD-ピクチャカード、スマートメディア
	PC5in1-ADPL	SDメモリーカード、スマートメディア、マルチメディアカード、メモリースティック、メモリースティック PRO、microSDカード※1

※1 別途アダプター「SDMC-ADP」が必要。

1 インストールする

本製品を使用するためにはサポートソフトをインストールする必要があります。以下の手順でインストールを行ってください。

注意 以下の作業は、USBポートに本製品を接続する前に行ってください。

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

Windows Vista™/XP/2000をお使いの場合は、コンピュータの管理者(Administrator)のアカウントでログオンしてください。

❷ 添付のサポートソフトを CD-ROMドライブにセットします。

Windows Vista™では

Windows Vista™では右の画面が表示されます。
「Autorun.exeの実行」をクリックします。

❸ 自動でメニューが起動します。

自動で起動しない場合は、([スタート]➡)[マイコンピュータ]➡ CD-ROMドライブ➡[Autorun]の順にダブルクリックしてください。

❹ [デバイスドライバ]をクリックします。

❺ [インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックして、[OK]ボタンをクリックします。⇒自動でインストールされます。

Windows Vista™では
右の画面が表示されます。

1.「DPINST.EXE」であること確認し「許可」をクリックます。
2.「次へ」をクリックします。
3.「このドライバソフトウェアをインストールします。」をクリックします。
⇒後は自動でインストールされます。

❻ [OK]ボタンをクリックします。
※Windows Vista™の場合は「完了」をクリックします。

❼ メニューより「EXIT」をクリックします。サポートソフトを取り出し、再起動します。
※Windows Vista™では、サポートソフトを取り出してください。(再起動の必要はありません。)

❽ 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。
※正しく「Readyランプ」が点灯することを確認します。

この後、Windows XP/2000の場合、「追加作業」へ進む

Windows Vista™の場合、**2** へ進む

Windows XPの追加作業

■Windows XP SP2の場合

●「いいえ、今回は接続しません」を選択し次へ進みます。

❶ 本製品装着後、下の画面が表示されますので、[ソフトウェアを自動的にインストールする]にチェックがついていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

❷ [続行]ボタンをクリックします。

❸ [完了]ボタンをクリックします。

正常にインストールが終了すると、左記のような画面が表示されます。

Windows 2000の追加作業

本製品装着後、下の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

参考 弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

2 使い方について

本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。

通信カードの使い方

本製品ではPCカードタイプの通信カードを使用することができます。
使用できる通信カードは、表面の【対応カード】対応データ通信カードを参照してください。

※カードの抜き差しは、本製品を手で押さえて行ってください。

注意 本製品を接続中に「Cardランプ」が早い点滅をしている時は、カードにアクセスしていますので、絶対にカードは抜かないでください。

●通信カードを入れる

通信カードのラベル面を上にし、▲印の方を奥にして、挿入口に対して水平に、手で最後まで押し込んでください。認識されると、Cardランプが点灯します。(通信カードにモードLEDやアンテナLEDが付いている場合はこれらも点灯します。)

●ラベル面を上に▲印の方を奥にする
(▲印がないものもあります)
●PCカードは本製品を手で押さえて、挿入口に対して水平にまっすぐに押し込んでください。

❶ デバイスマネージャを起動します。
※「2 使い方について」の**デバイスマネージャの開き方**参照

❷ 以下が表示されていることを確認します。
※通信カードの場合はデバイスマネージャには[モデム]の項目のみ追加されます。

■Windows Vista™の場合

❶ [モデム]をダブルクリックする
❷ [I-O DATA USB2-PCADPK]を確認する

■Windows XP/2000の場合

❶ [モデム]をダブルクリックする
❷ [I-O DATA USB2-PCADPK]を確認する

●通信カードを使う(ダイヤルアップネットワークの設定)

ダイヤルアップの作成方法は使用する通信カードメーカーの案内されている手順にしたがって作成してください。なお、「接続方法(接続の方法)」では、「I-O DATA USB2-PCADPK」を選択してください。また、「ダイヤル情報を使う(市外局番とダイヤルプロパティを使う)」のチェックは外してください。以降は通信カードの取扱説明書を参照してお使いください。
(設定する電話番号はプロバイダから案内されている番号を指定してください。)

■Windows Vista™の画面例　■Windows XPの画面例

■Windows 2000の画面例

●通信カードを取り出す

使用したダイヤルアップやインターネットアプリケーションなどを終了し、「Cardランプ」が点滅していないことを確認して、取り出しボタンを押し、通信カードを取り出します。
※通信カードを使って通信していない場合やCardランプが点滅していなければ通信カードやアダプターは、いつでも取り外すことが可能です。

デバイスマネージャの開き方

■Windows Vista™の場合
[スタート]→[コンピュータ]を右クリック→[プロパティ]→[デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。「ユーザアカウント制御」の画面が表示されますので「続行」を選んでください。

■Windows XPの場合
[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。

■Windows 2000の場合
[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。

ATAカードの使い方

●ATAカードを入れる

ATAカードのラベル面を上にし、▲印の方を奥にして、挿入口に対して水平に、手で最後まで押し込んでください。

ラベル面を上に
▲印の方を奥にする
(▲印がないものもあります)

❶ デバイスマネージャを起動します。
※「2 使い方について」の**デバイスマネージャの開き方**参照

❷ 以下が表示されることを確認します。

■Windows Vista™の場合

❶ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックする
❷ [USB 大容量記憶装置]を確認する
❸ [ディスクドライブ]をダブルクリックする
❹ [I-O DATA USB2-PCADPK USB Device]を確認する

■Windows XP/2000の場合

❶ [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックする
❷ [USB 大容量記憶装置デバイス]を確認する
❸ [ディスクドライブ]をダブルクリックする
❹ [I-O DATA USB2-PCADPK USB Device]を確認する

●ATAカードを使う

リムーバブルディスクなどとして読み書きを行うことができます。

●ATAカードを取り出す

「Cardランプ」が点灯状態であることを確認します。
ATAカードの取り出しは、お使いのOSにより画面が異なります。
以降の手順に従い、ATAカードの取り出しを実行します。

■Windows Vista™の場合
コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。
①[スタート]→[コンピュータ]を順にクリックします。
②[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。
③「Cardランプ」がゆっくりとした点滅となったことを確認して、ATAカードを取り出します。

■[コンピュータ]画面例↑

■Windows XPの場合
コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。
①[スタート]→[マイコンピュータ]を順にクリックします。
②[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。
③「Cardランプ」がゆっくりとした点滅となったことを確認して、ATAカードを取り出します。

■[マイコンピュータ]画面例↑

■Windows 2000の場合
Windows 2000をお使いの場合はAdministratorの権限でログオンしてください。
①[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
②[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。

③「Cardランプ」が消灯したことを確認して、取り出しボタンを押して、ATAカードを取り出します。

3 本製品の取り外し方

カードの取り出しを行ってから、下記の要領で本製品を取り外してください。

■パソコンの電源が入っていない状態
そのまま本製品のUSBコネクタを抜いてください。

■パソコンの電源が入っている状態

●通信カードを利用した場合
通信カードを使用した場合は、使用したダイヤルアップやインターネットアプリケーションなどを終了し、「Cardランプ」が点滅していないことを確認して、本製品のUSBコネクタを抜いてください。

注意 「終了手順」を行わずに本製品を取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。必ず「終了手順」を行って本製品を取り外してください。

●ATAカードを利用した場合
ATAカードを使用した場合は、取り出す方法はOSによって異なります。お使いのOSの【終了手順】を行って、本製品のUSBコネクタを抜いてください。

終了手順

以下の手順は、Windows XPの場合です。表示方法はお使いのOSにより異なります。
※Windows 98SEの場合は以下の終了手順は不要です。カードの取り出しを行ってから本製品のUSBコネクタを抜きます。

①画面右下のタスクトレイのアイコン をクリックします。

②表示されたメッセージをクリックします。

③以下の画面を確認([OK]ボタンをクリック)後、本製品を取り外します。本製品のUSBコネクタを抜きます。

■Windows Vista™の場合

■Windows 2000の場合

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは
サポートセンターのみで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

オンラインマニュアル【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsその他

http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト

http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
　(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
① 本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
② 弊社サポートセンターへお問い合わせください。
(上記【お問い合わせ】をご覧ください)
明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

■以下の内容を書いたもの
●返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]、
●日中にご連絡できるお電話番号、
●ご使用環境(機器構成、OSなど)、
●故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください

■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は以下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2007.11.29 発行

地球環境を守るため再生紙を使用しています。